

「5Gとオープンデータ活用によるSDGs推進セミナー」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、令和2年1月21日（火）、石川県地場産業振興センターにおいて、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）と共催で「5Gとオープンデータ活用によるSDGs推進セミナー」を開催しました。（後援：石川県、金沢市、北陸経済連合会及び金沢商工会議所）

はじめに、5Gモバイルフォーラム事務局の山崎義樹氏が、5Gやローカル5Gの概要及び総務省がこれまで実施してきた5Gの実証試験について説明し、続いて総務省北陸総合通信局情報通振振興室の松元信貴室長から令和2年度に実施する「総務省地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」等について説明しました。

国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット事務局長の永井三岐子氏が、SDGsの意義や目標達成に向けての取組事例などについて講演しました。

続いて、アイパブリッシング株式会社代表取締役、一般社団法人コードフォーカナザワ代表理事の福島健一郎氏からシビックテックとオープンデータの活用及びそれらがSDGs達成へつながっていくことについて、金沢市都市政策局担当部長（兼）広報広聴課長の松田俊司氏から金沢市のオープンデータ普及の取組についてそれぞれ説明がありました。

金沢医科大学看護学部講師の中井寿雄氏から「当事者の参画とテクノロジーの活用による災害時要配慮者対策」と題して講演があった後、SDGs目標11の「住み続けられるまちづくり」に注目し、防災・減災に取り組む上での課題についてパネルディスカッションを行いました。

会場は約130名の聴講者があり、講演やパネルディスカッションに熱心に耳を傾けていました。



セミナー会場の様子



パネルディスカッション

 5Gモバイルフォーラム事務局 山崎義樹（やまさきよしき）氏	 国連大学サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわ オペレーティングユニット 事務局長 永井三岐子（ながいみさこ）氏	 アイパブリッシング株式会社 代表取締役 一般社団法人コードフォーカナザワ 代表理事 福島健一郎（ふくしまけんいちろう）氏	
 金沢市 都市政策局 担当部長（兼）広報広聴課長 松田俊司（まつだしゅんじ）氏	御講演いただいたみなさん		 金沢医科大学 看護学部 講師 中井寿雄（なかいひさお）氏